

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2004-117746 (P2004-117746A)
【公開日】平成 16 年 4 月 15 日 (2004.4.15)
【年通号数】公開・登録公報 2004-015
【出願番号】特願 2002-279988 (P2002-279988)
【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 7/02

【F I】

G 0 2 B 7/02 F

G 0 2 B 7/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 8 日 (2005.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 と第 2 の穴を有する筐体と、

表面と裏面を有する光素子と、

該光素子の裏面全体に取り付けられ、該筐体に固定された保持手段と、

該筐体に収納され、該光素子の表面からの出力光を集光するレンズと、

該筐体を加熱するヒータと、

空気を封鎖し、該第 1 の穴を通して、光を通過させる第 1 の封鎖手段と、

空気を封鎖し、該第 2 の穴を通して、光を通過させる第 2 の封鎖手段とを備え、

該光素子の温度を該保持手段及び、該筐体内の空気を介して、ヒータで均一に制御すること
ことを特徴とする光装置。

【請求項 2】

前記第 1 あるいは第 2 の封鎖手段は、前記レンズであることを特徴とする請求項 1 に記載の光装置

【請求項 3】

前記第 1 あるいは第 2 の封鎖手段は、前記保持手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の光装置。

【請求項 4】

前記保持手段は、前記光素子の光の通る部分より十分広い領域と接触して固定されており、光の該光素子への入射を妨げない構成となっていることを特徴とする請求項 1 に記載の光装置

【請求項 5】

前記光素子が、空気及び空気と略同じ熱伝導率である材料で周囲が覆われていることを特徴とする請求項 1 に記載の光装置。

【請求項 6】

バーチャリ・イメージド・フェーズド・アレイ (V I P A) 素子と、

該 V I P A 素子から出力する光を集光し、該 V I P A 素子へ入力する光を平行光にするレンズと、

該 V I P A 素子から出力され、該レンズによって集光された光を、該レンズに再入射し

、該レンズから該V I P A素子に入射される光に波長分散を与えるように、集光される位置によって異なる方向に反射するミラーと、

該V I P A素子と該レンズの温度を一定制御する温度制御手段と、
からなる光装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

そして、前記固定部材の集束光の入射位置に反射防止膜を形成する。

また、熱伝導率が空気と略等しい材質である保持手段で前記光素子が前記筐体に固定された構造となっており、該筐体と前記温度制御ヒータで温めることにより、該光素子の周囲が空気及び空気と略同じ熱伝導率の材質である保持手段とで囲まれているため、熱の伝わり方に偏りがなく、該光素子の厚み方向及び面内において温度ムラが生じず該光素子を均一に加熱することが可能な構造を有する。